

平成28年度 第2回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成28年5月17日（火）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所在地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後2時00分

閉会時間 午後4時30分

○ 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員（委員長職務代理者）	中川 茂
	委員	宮嶋 珠美
	委員	佐伯 和亜
	委員（教育長）	石高 雅信

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	教育総務課参事（企画係長）	午菴 晴喜
	こども教育課長	能登 琢也
	こども教育課参事（教育研修センター・こども支援センター所長）	鳥居 保
	こども教育課主幹（指導係長）	内海 忠裕
	こども育成課長	福富 省吾
	教育総務課参事（課長補佐）	正木 一郎
	教育総務課教育総務係長	向原 芳江

事務局以外 地域コミュニティ振興部  
コミュニティ政策課参事（公民館担当）真島 利之  
生涯学習課長 井上 貢

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

宮嶋 珠美 委員

第2 議事（その1）

○議案第5号 豊岡市教育委員会委員長の選挙について 【非公開案件】

○議案第6号 豊岡市教育委員会委員長職務代理者の指定について 【非公開案件】

○議案第7号 豊岡市教育委員会委員の議席について

第3 前回の会議録の承認

平成28年4月28日（木）開催 第1回定例会

第4 教育長の報告

第5 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

(1) 「キッズワイルド2016」について

第6 議事（その2）

○議案第8号 物件購入契約の締結に関する意見について 【非公開案件】

○議案第9号 平成28年度6月補正教育関係予算案に関する意見について 【非公開案件】

○議案第10号 豊岡市社会教育委員（豊岡市公民館運営審議会委員）の委嘱について

【非公開案件】

○議案第11号 豊岡市立公民館長の任命について

【非公開案件】

○議案第12号 寄附物件の申出について（1件）

第7 協議事項

1 教育委員が務める各種協議会等の委員について

2 平成28年度の教育委員会活動計画について

3 学校訪問の実施について

第8 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

(1) 豊岡市奨学生応募状況について

2 こども教育課

(1) 「子どものことを考える会」の開催について

(2) 「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について

(3) 平成27年度タブレットモデル校実践のまとめ

(4) 豊岡市こども支援センター4月の活動状況報告について

第9 教育委員会活動予定

1 次回教育委員会会議の日程について

2 今後の活動・行事予定

○ 会議の概要

開会 午後2時00分

（教育次長）

改正前の豊岡市教育委員会会議規則第7条には、「会議の開会、閉会は委員長が行う」と規定されており、本来であれば会議の進行は委員長が行うことになっておりますが、委員長の任期が昨日までとなっております。新たに委員長が選任されるまでは事務局で進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は、教育長が遅れて出席ということで、今のところ4人です。定足数に達しておりますので、ただいまから平成28年度第2回教育委員会会議を開催いたします。

3月に開催されました平成28年第1回市議会において、佐伯和亜教育委員の任命について議会の同意をいただいたところです。委員につきましては、格別のご尽力を賜りますようお願いいたします。

議事に入ります前に、5月17日付けで教育委員の任命を受けられました佐伯委員にご挨拶をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(佐伯委員)

失礼いたします。任命いただきました佐伯和亜でございます。私は今、小学校1年生と6年生の子どもを持つ母親ですが、そのような時期にリアルタイムに教育現場に関わらせていただけることに、ありがたいなと感謝しております。また子どもたちがこの豊岡を愛し、そして元気いっぱい伸び伸びと暮らしていけるような、そんなまちづくりのお手伝いができたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(教育次長)

ありがとうございます。それでは、会議に入らせていただきます。

#### [日程 第1 会議録署名委員の指名]

(教育次長)

日程の第1、議事録署名委員の指名です。宮嶋委員に署名をお願いいたします。

#### [日程 第2 議事(その1)]

(教育次長)

続きまして、日程第2、議事に入ります。議案第5号、第6号については、人事に関する事件となりますので、改正前の豊岡市教育委員会会議規則第18条第1項の規定に基づき、非公開とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(教育次長)

出席委員の了承を得られましたので、非公開とさせていただきます。

それでは、審議に入らせていただきます。

#### ○議案第5号 豊岡市教育委員会委員長の選挙について

### 【非公開会議】

《 平成28年5月16日をもって教育委員長の任期が満了したことに伴い、改正前の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定に基づく委員長の選挙について協議し、改正前の豊岡市教育委員会会議規則第2条第2項の規定に基づき、指名推薦により深田委員が教育委員長に選任された。任期は平成29年5月16日までの1年間とする。》

### ○議案第6号 豊岡市教育委員会委員長職務代理者の指定について

#### 【非公開会議】

《 改正前の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定に基づき、中川委員が委員長職務代理者に指定された。任期は委員長と同様、平成29年5月16日までの1年間とする。》

(深田委員長)

では、これからは会議を公開で進めていきたいと思えます。

議案第7号「豊岡市教育委員会委員の議席について」を議題といたします。

### ○議案第7号 豊岡市教育委員会委員の議席について

(深田委員長)

議席について決定していただきたいと存じます。改正前の豊岡市教育委員会会議規則第3条の規定により、就任後初の会議でくじで決めるとされておりますが、従来から、委員長、委員長職務代理者、教育長は慣例で席が決まっているようです。他の委員の方の議席についてご協議をいただくようお願いいたします。既に配付されています資料の中にある3番、5番の席を決めていただきたいと思えます。

はなはだ僭越ですけれども、1番、2番と4番は決まっておりますので、あと3番の席はこれまでの宮嶋委員の席でありますので、それはそのままということにさせていただきまして、4番は中川委員長職務代理者の席ということになりますので、5番のところに佐伯委員に着いていただくという形にしたいと思えます。そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。

(委員)

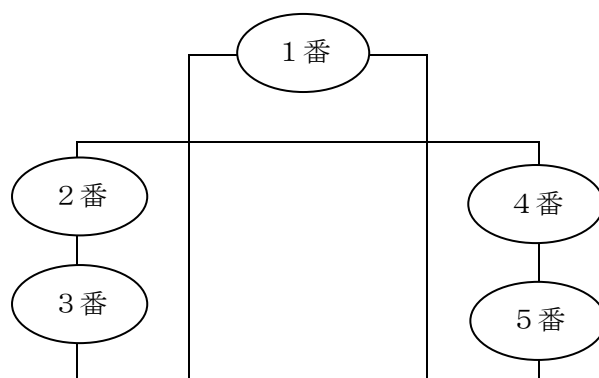
異議なし。

(深田委員長)

では、席が確定いたしましたので、席の移動をお願いします。

#### <豊岡市教育委員議席表>

1番	深田 勇 委員 (教育委員長)
2番	石高 雅信 委員 (教育長)
3番	宮嶋 珠美 委員
4番	中川 茂 委員 (委員長職務代理者)
5番	佐伯 和亜 委員



### [日程 第3 前回の会議録の承認]

(深田委員長)

第3、前回の会議録の承認です。平成28年4月28日に開催いたしました平成28年度第1回定例会の議事録につきましては、委員の方々に事前に配付をし、確認をしていただいております。

委員の方々の承認を求めたいと思います。誤り、修正などはなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

「なし」の声がありますので、会議録につきましては、承認をするということに決定いたしました。

### [日程 第5 地域コミュニティ振興部の報告]

(深田委員長)

次は、本来であれば、「教育長の報告」ですけれども、教育長の報告につきましては、教育長がおいでになりました後でお願いすることとし、次第の第5、地域コミュニティ振興部の報告に移りたいと思います。生涯学習課より報告を受けたいと思います。

#### 1 生涯学習課

《生涯学習課長の報告概要》

##### (1) 「キッズワイルド2016」について

キッズワイルド2016について、現在の募集状況をお知らせする。

平成28年度は、3つのコースと各地区公民館を主体に出向いて実施する「出向く野生復帰大作戦」の合計4つのコースを設けており、既に3つのコースについては開校式を終えた。

資料に過去3年間の経緯を載せているが、昨年、2015年からコースを一部見直して、3年1サイクルで第4期に入っており、これで2年度目ということになる。今年はそれをさらに変化させてコースを少し見直している。「生き物」「冒険」「家族」の3つのコースについて募集をかけ、「生き物」コースは、定員40名で、現在42名の受け入れを行っている。「冒険」コースは申し込みが非常に少なく、定員40名に対して19名という状況である。「家族」コースは30組の定員に対して40組受け入れた。申し込みが55組あったが、抽選により40組の最大の

受け入れをした状況である。このように、ニーズが少しずつ変化してきているというのを肌で感じている。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

抽選という説明があったが、これは新規参加と継続参加を一緒に抽選したのか。

(生涯学習課長)

受付番号を振っており、その番号を使って40組まで絞った。継続・新規は関係なく抽選している。

(深田委員長)

以上で生涯学習課からの報告は終わらせていただきます。

[日程 第6 議事(その2)]

(深田委員長)

第6、議事(その2)に入らせていただきます。まず最初にお諮りをいたします。議案の第8号から第11号につきましては、予算等、市議会の議案として提出され議決を経るべき事項、また人事に関するものとなっております。改正前の豊岡市教育委員会会議規則第18条第1項の規定に基づきまして、非公開としてよろしいでしょうか。皆さまのご同意を得たいと思います。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

出席されましたすべての委員の了承が得られましたので、非公開とさせていただきます。本日は傍聴の方がいらっしゃいませんので、このまま進めさせていただきます。

○議案第8号 物件購入契約の締結に関する意見について

【非公開会議】

《市議会の議決案件となる物件購入契約の締結について、教育総務課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。》

○議案第9号 平成28年度6月補正教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

《平成28年第2回市議会定例会に提案する補正教育関係予算案について、各担当課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。》

○議案第10号 豊岡市社会教育委員(豊岡市公民館運営審議会委員)の委嘱について

【非公開会議】

《豊岡市社会教育委員に関する条例第1条、第2条及び第4条の規定並びに豊岡市立公民館

の設置及び管理に関する条例第18条及び第19条の規定に基づき、豊岡市社会教育委員（豊岡市公民館運営審議会委員）を委嘱することについて、生涯学習課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。≫

## ○議案第11号 豊岡市立公民館長の任命について

### 【非公開会議】

≪ 社会教育法第28条の規定に基づき、豊岡市立公民館長を任命することについて、コミュニティ政策課参事（公民館担当）が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。≫

（深田委員長）

ここまでが、非公開の審議であります。これからは審議を公開とさせていただきます。

引き続き、議案第12号「寄附物件の申出について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

## ○議案第12号 寄附物件の申出について

≪教育総務課長の説明概要≫

資料のとおり、個人1件から寄附物件の申出があったので、これを受納することについて審議をお願いしたい。

（深田委員長）

説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんでしょうか。

（委員）

なし。

（深田委員長）

質疑打ち切りをさせていただきます。討論に入ります。討論、ご意見等ありますでしょうか。

（委員）

なし。

（深田委員長）

討論打ち切りをさせていただきます。では、お諮りいたします。本案につきましては原案のとおり受納を承認するという事に決定してご異議ありませんでしょうか。

（委員）

異議なし。

（深田委員長）

「異議なし」の声がありますので、異議なしと認めます。よって、議案第12号につきましては、

原案のとおり承認するという事に決定いたしました。

議事はここまでであります。

#### [日程 第4 教育長の報告]

(深田委員長)

遡って、第4、教育長の報告に入ります。教育長、報告をよろしくお願ひいたします。

#### 《教育長の報告概要》

4月28日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育活動の概要

- \* 5月6日から中学校訪問を実施した。これは例年行っているが、すべての中学校の1年生の授業を参観して、子どもたちの様子を見ていくという趣旨の訪問である。9中学校の訪問を終え、少し気になる生徒もいたが、全体的に落ち着いて授業を受けているという感じがした。今までになく落ち着いて授業を受けているという要因の1つに、今、豊岡市教育委員会が力を入れている特別に支援を要する子どもたちへの対応が先生方の間に少しずつ定着し、小学校から中学校に繋がってきており、そうした中で子どもたちが落ち着いた状況で中学校に入学しているといったことも影響しているのではないかという思いを持っている。ただ、学校を訪問していく中で、中学校の先生はしゃべりすぎの授業が多い。子どもたちにもっと発表させる授業をこれからはもっと心掛けるべきである。したがって、教育委員会が進めている5つの徹底継続実践事項をしっかりと1時間の授業の中にどう組み立てていくかという質の向上に向けて、今一度、研修をすべきであるということを校長にお願いしている。
- \* 5月10日の豊岡地域、13日の但東地域で春季市政懇談会がすべて終わった。この2地域とも、教育に関する意見等は出ていない。
- \* 5月16日から目標管理シートの面談が始まっている。16日は日高東中校区の面談をした。それぞれの学校の課題が何か、課題に対する対応策についての説明を聞いていく中で、「とにかくこの課題と対応策は絵に描いた餅で終わらないように、しっかりと意識化して取り組んでいただきたい」ということを校長先生方をお願いしている。
- \* 昨日から、豊岡北中学校が修学旅行に行っている。昨夜、テレビで地震の報道があり、関東地域、東京が震度3、その周辺が震度4という状況で少し心配したが、「異常なし」ということでそのまま修学旅行を続けているという報告も聞いている。明日、私も東京に行って、但東中学校の「MISSION IN TOKYO」の取組を見てくるので、後日その報告等についても簡単にお話させていただきます。

#### 《教育委員の質問・意見概要及び教育長の回答・説明概要》

(深田委員長)

特別に支援を要する子どもたちへの対応が少しずつかもしれないが中学校にも及んできたのではないかという感想を聞いて、大変嬉しく思っている。いろいろと私たちが話をしてきたことが少しずつ形になって現れるというのは大変嬉しいものなので、このような形で少しずつ、一步一步前へ進んでいってくれたらいいなと今思っている。



## [日程 第7 協議事項]

(深田委員長)

では、教育長報告を終わらせていただき、第7、協議事項に入らせていただきます。

まず最初に、「教育委員が務める各種協議会等の委員について」を協議議題といたします。事務局から提案趣旨の説明をお願いいたします。

### 1 教育委員が務める各種協議会等の委員について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

5月16日現在の教育委員が務める各種協議会等の委員の状況を資料に記載している。前回の定例会でも少し説明したが、友田委員が務めておられた委員の変更や、今年度、新たに選考が必要な委員等があり、それらを今回決めていただきたい。

前回の定例会で、「もう一度すべてを見直したらどうだ」というような意見もあり、その点について、各委員会の事務局に確認した。奨学生選考委員会は既に選考事務が進んでおり、宮嶋委員に選考委員として携わっていただいている。男女共同参画推進懇話会、基本構想審議会については、宮嶋委員、中川委員、それぞれ任期の途中だが、こちらは積み上げていく委員会であり、できればこのまま今の委員でお願いしたいという事務局の意向を聞いている。

小中連携推進協議会は例年1年で委員の見直しをしている状況である。5月26日には今年度第1回目の会議が開催される。前任は中川委員であった。また、民生委員推薦会は友田委員が委員であったが、昨日教育委員を退任されたので、本日からの交代委員の選考が必要となっている。事務局からは女性の委員でお願いしたいという希望を聞いている。友田委員の残任期間ということになるので、任期は平成30年5月27日までとなる。資料には6月上旬会議開催予定と記載している日程が決定したと聞いており、6月7日・火曜日の10時から11時、立野庁舎で開催される。民生委員推薦会は年に1回の開催ではなくて、欠員ができたたびに会議が開催される。本日選任された委員に、6月7日は既に予定が入っている可能性もある。その場合は欠席になっても致し方ないと事務局からは聞いている。

(深田委員長)

今、提案趣旨等の説明がありました。皆さんの意見をお聞かせ願ひまして決めたいと思いますので、忌憚のないところで意見をお願いいたします。

(中川委員)

小中連携推進協議会の委員ですが、昨年度一年間務めさせてもらいましたが、ずいぶん私としても勉強になったと思いますね。それは関西学院大学の佐藤教授の話もそうなんですし、学校現場でグループに分かれていろいろ議論するというのが非常に良かったと思うので、できればこれは全委員が交代で務めた方がいいのではないかと思います。

(深田委員長)

はい、小中連携教育推進協議会の委員については、多くの方が経験されるほうがいいのではないかと、経験された委員のご意見として出ております。

私がやりましようかというような声はありますか。

(宮嶋委員)

はい、やらせてください。

(深田委員長)

では、小中連携推進協議会の委員につきましては、宮嶋委員にお願いするということにさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

では、よろしくお願ひいたします。

民生委員推薦会の委員につきましては、女性委員を希望するということも聞きましたので、僭越ですが、佐伯委員にお願いしてはと思います。佐伯委員、よろしいでしょうか。

(佐伯委員)

はい、よろしくお願ひします。

(深田委員長)

では、民生委員推薦会委員につきましては、佐伯委員にお願いするということで、平成30年5月27日まで任期があります。

その他につきましては、先ほど事務局から説明がありましたように、任期の途中でありますので、継続して委員として頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

では、教育委員が務める各種の協議会等の委員については、以上で協議を終了させていただきます。

続きまして、「平成28年度の教育委員会活動計画について」を協議議題といたします。事務局から提案等の趣旨説明をいただいたうえでご意見をお伺いしたいと思います。

## 2 平成28年度の教育委員会活動計画について

### 《教育総務課教育総務係長の説明概要》

平成28年度の教育委員会活動計画について、4月の定例会で、平成27年度の実績を元に今年度実施についての意見をいただいたことを資料の「H28希望」欄に落とし込んでいるので確認いただきたい。今回の定例会で改めて意見をいただくということも前回定例会で聞いているので、追加等々の意見をいただきたい。

(深田委員長)

前回も協議していただきました。それ以降もいろいろとお考えやご意見もあろうかと思ひます。何かご意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。何かありますでしょうか。

佐伯委員は初めてですので少し説明しますと、以前から移動教育委員会という形で旧豊岡市以外のところで巡回をしながら教育委員会会議を行っております。これは各地域の市民の方々が少しでも教育委員会会議の傍聴等をしやすいようにということです。また去年は、私たち教育委員が各地域の教育課題等について現場の学校や地域の方々からご意見をいただく勉強会もそこでしようというようなことで会議終了後に勉強会を行いました。

学校園訪問は、各学校・こども園等への訪問です。これは教育委員の仕事として大変大切なものだと思います。

教育懇談会につきましては、昨年度は但東地域において、豊岡市が平成29年度から行おうとしている小中一貫教育の但東地域での先進的な取組について、保護者との意見交換を8月、2月に行いました。

管外行政視察は、私たちにとって、いろんな教育課題、問題意識、そういうものの研鑽を広めながら豊岡の教育に活かしていく、そういう勉強の場でもあると考えております。去年は小中一貫教育を進めるにあたっての研修と、英語教育を中心とした研修、そしてまた先ほど話がありましたように特別に支援を要する子どもたちに対する取組の研修に行きました。今年はどうのような問題意識を持ってどんなところへ行きたいかというようなこともまたご意見がありましたら述べていただけたらと思います。

定例の教育委員会会議は月に1回であります、その定例の教育委員会会議だけでは私たちの問題意識もさることながらいろんな勉強や研修が追いつかないということで、事に当たりまして事前に協議会を開いて、事務局から問題意識に対して説明・提案をいただいたりしています。

そういうことについて4月の定例会でいろいろと話をしたことについて、資料に28年度の希望というような形で書いてあります。定例の教育委員会や学校園訪問、協議会については例年通り必要ではないかと今考えております。また、教育懇談会につきましては、去年は但東でしたけれども、小中一貫教育は平成29年度以降は全域に広がっていきますので、それに合わせて各ブロックごとに開催をしなければいけないのではないかとというようなところを、4月定例会で話し合いました。管外行政視察につきましては、前回、意見も出ておりますけれども、何か最近考えておられること、感じておられることについて忌憚のないご意見をいただければ大変ありがたいと思います。

資料にありますように、ふるさと教育、英語教育に関する小中の連携とか、タブレットがこれだけ広がっていく中で、活用がちゃんとできているようなところがあつたら一回見に行ったほうがいいのではないかという話が前回ありました。その他、前回かなり時間をかけて話しましたので、その後、こういうのも見ておくべきだとか、こういうことも意識を持っておかないといけないというようなことがありましたら、お願いいたします。

ふるさと教育について、テキストを作成中ですが、このふるさと教育のテキストというのはいろんな県でもできあがっているんですかね。何かそういうような情報をお持ちでしたら、お聞かせ願えたらと思います。私が思うには、島根県はわりと早くから全県の目標に掲げながらやっていますが、島根県はふるさと教育の県版のテキストなんかはできているんですか。

(こども教育課参事)

島根県のことにはちょっと知らないですけども、例えば学力学習状況調査でトップオブトップといわれている秋田県は、秋田学という形のもの、テキストではなくて、教職員がふるさと教育

をやっていく際に秋田のことをしっかりと知っておく必要があるという考え方から、教職員向けのちょっとした百科事典並みのものは作成されています。ふるさと教育を実際に学習する時間枠としては、総合的な学習時間が多いだろうと思われます。総合的な学習時間というのは、探求学習をするということをしごく大きな目的とした学習枠ですので、教科書を使うような中身とは相反する学習内容であります。そういうことから秋田では、子どもたちがいろんなことに興味を持って課題意識を持って自ら学習していくことを支えるために教師が豊富な知識を持っておくという考え方に立っています。なので、例えば昨年、行政視察に行った宇治市も、宇治学びたいな時間枠を取っていましたね。宇治のことをしっかりと学んでほしいということからある程度の知識的なものは入れても、テキストとして作っているかどうかはちょっと捉え方によって違うのかなというのが私の解釈です。

(石高教育長)

今、これを豊岡市が進めていく中で私がお願いしていますのは、教育委員会サイドからふるさと教育に関する資料を作ってほしいということで、教育委員会サイドがその主導権を握れば、教育という幅の狭い中のテキストになるんです。そうではなしに、やはり私たちは子どもたちに、ふるさとについて自分たちが課題を見つけて探求的な活動をしていく中でふるさとについて考えていこう、そのことを一番大きな主眼に置いていますので、テキストではなしに資料という形で提示した方がいいのではないかと思います。これをふるさと教育のテキストという形で提示すれば、先生はそれを教えればいいということで、ふるさと教育の教育活動そのものが限定された形の知識注入方の指導にどうしても陥りやすい。それだけは避けようということで今作っておりますので、テキストという表現よりもどちらかというとガイドブック的な、あるいは資料集的な、そういったものを我々としては作っていこう、作ってほしいな、という思いのもとに今、コウノトリ共生課とか、3つの課にお願いしながら教育委員会の知恵と、3課が子どもたちに伝えたい事柄と、それをセットにしながらガイドブックを作成している状況です。

(深田委員長)

その他、何かご意見ありますでしょうか。

(佐伯委員)

今、私は、大人向けのスキルアップ講座をやっているのですが、なかなか大人でも言葉を使って人に何かを伝えたいとか、言葉を交わしての会話のキャッチボールができない人がすごく多いですね。先日、豊岡小学校の授業参観があり、そこで、「伝えるために言葉を使う、伝えるために聞く」という道徳の授業が行われていたのですが、コミュニケーション能力を上げるというのは子どもも大人も関係ないのだなと思いました。このような学びは、子どもの頃から少しずつやっていかないと、大人になって「人とコミュニケーションを取らないといけないよ」というようなことを急に言っても取れないので、子どもの頃からコミュニケーション能力を取るといいう力をつけていかないといけないなと思いました。そういうコミュニケーション能力に力を入れているような学校とか教育とかがありましたら、そういうところを見に行きたいと思います。

(深田委員長)

コミュニケーション教育というか、どういう言葉でまとめたらいいいのかわかりませんが、心、気持ちを伝える授業ですね。

(中川委員)

去年行った寝屋川市の英語教育。英語教育を通じた、でも直接ではないのだけれど、そこでコミュニケーション能力も合わせて小さい頃から、というのはありましたね。

(佐伯委員)

自分の意見が言えるような子に育ててほしいなと思います。

(深田委員長)

豊岡市でも、平田先生の指導を仰ぎながら、演劇手法を取り入れたコミュニケーション教育と  
いうのを昨年から各学校でやっていただいております。

(佐伯委員)

あの授業は素晴らしいと思いますね。見学させていただきましたが、いろんなアイデアが子どもたちの中から溢れ出てきていましたよね。

(深田委員長)

そうですね。私もあれを見て思ったのは、本当に主体性が生まれるということを感じましたね。

そのようなコミュニケーション教育についての行政視察というのもあったらどうかという意見です。

事務局、この協議はまとめが必要ですか。

(教育総務課教育総務係長)

今年度全部というわけにもいかないのですが、事務局で視察先について調査し、後日相談させていただきたいと思います。

(深田委員長)

では、今、コミュニケーション教育、道徳の授業に関連して感じたことということで意見もありましたが、あとは4月に話をしていたようなところ、ということで、平成28年度の教育委員会活動の計画についての協議につきましては、以上で閉じさせていただきます。

では、3番目「学校訪問の実施について」を協議議題といたします。こども教育課長、提案の趣旨説明等お願いいたします。

### 3 学校訪問の実施について

《こども教育課長の説明概要》

学校訪問の実施について、本年度も教育委員の方々に学校園を訪問していただき、学校園の取組や課題等についてご理解をいただきたい。実施期間は7月から11月いっぱいぐらいを目処

にしており、回数的には、前年度と同じぐらいでと考えている。1校につき2名体制での訪問を基本として複数体制でお願いしたい。また今年も一日訪問では研究協議も見ていただけたらと思っている。現在、学校と日程の調整を図っているところだが、決まりしだいお知らせしたい。

(深田委員長)

今年度はこういう方針で実施したいという説明をいただきました。何か質問だとかご意見がありましたら、出していただけたらと思います。

私からですけれども、研究協議のところまで見せていただいて、本当に学校の先生がどうやって苦勞しながら子どもたちに教材の提示をされて、そしてその反応を見て、またそれをどうやって広げていくかというような教育をされているというのは、授業を見るだけではなくて切実に感じる事ができたので、大変私としてはよかったなと思います。一日ということで長時間ですが、委員の方々も小学校で1回、中学校で1回ぐらいの研究協議のところまで見ていただけたらいいなと思っております。特に昨年は教育研修センター所長の説明が素晴らしかった。

ご意見ありませんでしょうか。では、このような趣旨、このような形態で今年度の実施計画を立てていただくということによろしいですか。

(委員)

はい。

(深田委員長)

では、そういうことですので、よろしく願いいたします。

(石高教育長)

だいたいところで、何年に1回のペースで学校に行くことになるのか。3年に1回か4年に1回か。

(こども教育課長)

一日訪問は3年に1回のペースで回っています。

(石高教育長)

もっと現場に緊張感を持ってもらうためにも、隔年ぐらいで行かないといけないのではないか。

(こども教育課長)

研究会等を持っている学校をずらしていますので、昨年は一日訪問が14校で少なかったですが、今年度は16、7校、少し増えると思います。

(石高教育長)

やはり同じ学校に続けていくと、組織としてその学校の力量がアップしているかダウンしているのかははっきりわかる。3年ぐらいで行くと、あまりわからなくなる。私が行く分については、

たくさん回れるなら回るので考えてください。

(深田委員長)

その辺のところは、教育委員の訪問とはまた別に、教育長の熱い思いですので。

(中川委員)

日程を組むのがなかなかであれば、去年行った学校で、そこに割り当てになっていないのだけれどもちょっと関心があるというところは、2人も3人も別に迷惑にならないだろうから、飛び入りで行かせてもらうといったことも方法としてはあると思う。

(こども教育課長)

特にこの学校に行きたいというご要望がありましたら、その希望に沿うように調整させていただきます。校種や地区がある程度重ならないようにバランスを見ながら配置をさせていただいております。

(深田委員長)

いろんな意見も出ておりますので、そのあたりも配慮いただいて計画を立てていただければ大変ありがたいと思います。よろしくお願いします。

協議議題3点終わりました。ここで休憩を取りたいと思います。3時45分に再開します。

————— 休憩 —————

(深田委員長)

休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

## [日程 第8 教育委員会事務局の報告]

(深田委員長)

日程第8、教育委員会事務局の報告を受けたいと思います。まず最初に教育総務課からの報告をお願いいたします。

### 1 教育総務課

《教育総務課長の説明概要》

#### (1) 豊岡市奨学生応募状況について

平成28年度豊岡市奨学生の応募状況について、募集期間を4月5日から4月28日までとして受付をした結果、高校生1名、大学生7名の合計8名から応募があった。6月17日に今年度の選考委員会を開催する予定である。選考結果について、以降の教育委員会会議で報告させていただく。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

平成28年度分から返還しやすい返還方法に変更したが、結果的に応募状況が昨年とほとんど変

わからないというのはどのように判断したらいいのだろうか。経済情勢が好転したということなのか、PRが足らなかったということなのか。

(教育総務課長)

明確な分析等までには至っていない。

(石高教育長)

年度ごとの滞納額が毎年増えていってるのか、それとも横ばいなのか。どういった状況なのか。

(教育総務課教育総務係長)

平成27年度は、滞納額が少し減った。徴収にも力を入れており、増えているということではない。ただ、劇的に減っているということもない。

(石高教育長)

今回の応募者の作文、400字だが、中には返す意思があるのかと読めるような作文がある。選考委員会でそれを議論すると、貸し付けようという議論で終わってしまう。結果的には、その相関関係はわからないが、滞納が増えていっている。そのあたりが、作文を読みながら、ジレンマに陥る。

(宮嶋委員)

短いのが悪いわけではないが、今回は短い作文が多かった。

(佐伯委員)

それは、返さないのか。返せないのか。

(石高教育長)

そのあたりは、また相関関係を見てみないとわからないが、今年度から返す額、時期を返しやすいうように変更したので、それでしばらく様子を見てみないとわからない。

(中川委員)

勤めてすぐに返還するのは、なかなか大変だろうということで、2年間は減額返還できるように返還方法を見直したが、応募が増えなかったのは残念である。

(教育総務課長)

確かに応募状況はそうだが、意識は変わってきているという気はしている。また、返しやすいうような方法にしたので、これからは若干期待感も持っている。実際私も何軒かの家に職員と一緒に行って親御さんとも会ったが、先ほどの質問のように、気持ちはあるけれどもなかなか経済的に難しいというお宅もある。ただ、日本の全国的な風潮が、返さなくてもいいような風潮になってきているので、その辺も変えていかないといけないということも考えるが、豊岡市としては一所懸命徴収して、返していただく方向で取り組んでいる。

(石高教育長)

例えば、昔でいう日本育英会、今の日本学生支援機構の奨学金は学校等が借りたい学生を集めて、説明会を開く。しかし豊岡市の場合には、親が書類を出して、親が聞いて帰るが、本人はそこには居ない。だから、少なくともお貸ししますといった中で、本人に来てもらい、この制度がどんな制度で、どういった資金の中でやりくりしながらやっているかという説明もしながら意識付けも必要かなという思いがする。

(教育総務課長)

そういうことも含め、近年は実際借りている学生に、どのように奨学金を使って、どのような大学生活を送っているか、将来的にはどのような方向に進みたいかというような現況報告書を提



出してもらっている。これは決裁が私のところまでで、教育長に見ていただけていないが、現況報告書を見る限りは、本人の意識というのはあると感じている。

(教育総務課教育総務係長)

以前は、毎年、年度初めに在学証明を提出してもらっていただけだったので、本人の意識が薄く返還も滞るといことが実態としてあったため、数年前から本人の意識的なところの確認をするために、現況届で今どのように暮らしている、奨学金はどのように使っていて、私は今こういう学生生活を送っていますよというような現況の作文も一緒に提出してもらっている。それをやるようになってから、意識はずいぶん変わってきていると思う。新しい滞納者は多くない。滞納者の多くは、先ほど教育長が言われたように、親御さんが手続きをされて本人もあまり意識がないという時代の方という状況である。

(石高教育長)

できれば、その現況届を出してもらうときに、この豊岡市奨学金というものがどういった成り立ちの中で、こういった寄付のもとにできているのだといったことも合わせて資料として一緒に本人に送ってあげれば、より意識が高まるのではないかと思う。またそのあたりも検討してみしてほしい。

(深田委員長)

昨年もこういう話を委員会の中でも討議してきた。そういう中で今出てきたような話だとか、奨学生集会のような集まりも必要ではないかという話も出ていた。その一方で、奨学金は豊岡の子どもたちに対する支援だという側面もあるので、滞納については許されることではないが、そういう観点から、返しやすい条件に緩和するという工夫してきたと思っているので、常々いろんなところで、部分的に改良、工夫をしていかなければいけないと同時に、督促と集金も大変だと思うがよろしくお願ひしたい。

(深田委員長)

では、教育総務課報告、以上で終わらせていただきます。

続きまして、こども教育課からの報告を受けたいと思います。まず最初に、『『子どものことを考える会』の開催について』説明をお願いいたします。

## 2 こども教育課

《こども教育課長の説明概要》

### (1) 「子どものことを考える会」の開催について

家庭・学校・地域が連携して規則正しい生活習慣の確立を図るための方策を学ぶ、そういう学習の機会として、豊岡市のPTCA活動「子どものことを考える会」を6月25日に開催する。

今回の講師はNPO法人里豊夢(リフォーム)わかさの理事長、前田勉先生で、睡眠教育についての講演をお願いしている。近年、子どもの睡眠障害について不登校との関係が取りざたされている。前田先生は元小学校の校長先生で、福井県美浜町で、眠育で不登校を防ぐ取組を実践されておられる。豊岡の教育にも大いに参考になる話を聞かせていただければと思う。教育委員の方々も、ぜひお聞きいただきたい。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(石高教育長)

毎年こういった形で素晴らしい講演会をしているが、結局、「やりました、やりましょう」だけに終わっていて、いつも私は虚しさを感じる。こういった取組が定着しない。豊岡市としてこういったことに力を入れていこうとするならば、あれもこれもじゃなしに、少なくともこれだけはやっていこうという、ある程度焦点化して取り組んでいくような方策が何かここから生まれてこないかなと思う。眠育にはもっと力を入れていこうということで行くのか、その視点を明らかにしていく中で、これを家庭の活動に結び付けていく。その間に学校がどう関わっていくのかというあたりをある程度検討していかなければ、「講演会をやりました。後はPTAにお任せします」で、各家庭にその取組が浸透していくのか。たぶん、そんなに聴かなくてもいい人ばかりが聴きに來られるのではないかなと思う。だから、そうではないところにどう入り込んでいくのか、このあたりを考えていかなければ、毎年素晴らしい講演会をやっても、一人でも二人でも変えていく取組には結び付かないのではないかなという思いもするので、今後、考えていかないといけない。特に今、不登校等対策委員会の中で不登校になった子どもたちへの対応、成功事例、失敗事例、そういった事例集を作って、学校の先生から研修してもらおうとしている。その中の1つの事例として、睡眠を変えたら子どもが登校するようになりましたという事例も挙がってきている。そういった事例をもとにしながら、豊岡市としてやはりこの眠育にしっかり取り組もうというものを1つの流れとして我々が持っていなかったら、これまでと変わらないのではないかなと思う。その点も検討をよろしくお願いしたい。

(こども教育課長)

参加者だが、市内PTA関係者、一般市民の他に、来週の校園長会で情報提供させていただき、昨年度、養護教育部会が眠育のことを研究されたこともあるので、養護教諭の先生方、それから管理職の先生も含めて、学校の教職員も参加を募りたい。

また、不登校との関係ということで、来年度から始まる小中一貫教育の6つの柱、生活指導、学習指導の部分で家庭・地域との連携という柱があり、こういった項目を入れていこうかということワーキンググループで検討するのだが、その中で共通課題としてこの眠育を取り上げられないか、各中学校区で眠育についての取組が、学校・地域・家庭の連携の中で何かできないかという課題の中に盛り込めたらという案は持っている。校長先生方のワーキンググループで決定していただくことであり、決定ではないが、そのあたりの働きかけもできればと考えている。

(中川委員)

併せて、健康福祉部の保健師にも案内だけでも出したらどうか。要するに、これは生活習慣なので。せっかく去年から一緒に取り組もうとしているので、来る来ないは別にして、少なくとも案内は出すべきではないか。

(深田委員長)

PTAとの共催だが、PTAの役員までしか情報が回っていないのではないかなと思ったりするようなものもあるので、そのあたりのところを学校を通してか、PTAを通してかわからないが、もう少し参加要請を徹底するようなことも必要かなと思う。家庭教育とのつながりということ考えると大変な課題になるが、PTA活動だけでなく、PTCAの活動なので、取組も大変だと思うがよろしくお願いしたい。

(深田委員長)

では、2番目『トライやる・ウィーク』『自然学校』の視察について、説明をお願いいたします。

《こども教育課長の説明概要》

**(2) 「トライやる・ウィーク」「自然学校」の視察について**

6月1日、トライやる・ウィークと自然学校と合わせて、半日日程で視察をお願いしたい。大変広い範囲内を駆け足で回るような形になるが、今年度はトライやるについては但馬空港、出石・但東方面。自然学校については、この週は豊岡小学校が奈佐森林公園から竹野に移動するところなので、活動内容が閉村式となっており、おそらく掃除や片付けの時間となってしまうと思うが、日程がここしか合わなかったということでご理解いただきたい。

(深田委員長)

何か質問等ありますか。

では、こういう形で視察の計画がありますので、またよろしくをお願いいたします。

続きまして、3番目「平成27年度タブレットモデル校実践のまとめ」につきまして、説明をお願いします。

《こども教育課長の説明概要》

**(3) 平成27年度タブレットモデル校実践のまとめ**

4月の定例会でも話題にあがっていたので、昨年度のタブレットモデル校の実践のまとめを資料として配付した。平成27年度に小学校3校をモデル校に指定して、子どもたちに情報活用能力をつけるということで具体的に取り組んだ。

タブレットの効果的な活用について、教師が課題を提示するときに使ったり、繰り返し動画を見て学習内容の深い理解に役立ったり、また子どもたちがグループで1台タブレットを活用して、話し合いをした結果をそこに書き込んで、全体の場でモニターにそれを映し出して説明したりするような場面もあった。また、PC教室に行かなくても教室の中で子どもたちがインターネットに接続して情報収集するというようなこともできた。このようなことで、教室の中で日常的にタブレットを活用することで子どもたちの情報を活用する能力を高めている。同時に、使い方のルールであったりマナーも合わせて指導していくので、情報モラル教育についても指導している。

今後、教職員の指導技術の向上を図るために、今年度は年2回の研修を計画している。今年度、2学期以降、タブレットが配置される学校が増えるので、より利活用が促進されるように、今年度も授業での実践、活用の交流をしていきたいと考えている。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

アンケートの結果を見ると、なかなか面白い結果になっている。子どもはこれを導入してよかったとか、これを使ってプレゼンをやりたいというような積極的な意見がある。ところが先生方の意識調査の棒グラフを見ると、子どもの傾向との違いが歴然としている。使い方がよくわからないというのもあるのだろう。先ほど年2回ほどの研修会をするという説明があったが、そこは

充実して欲しい。

(こども教育課長)

県教育事務所に情報教育推進専門委員がいるので、そういった専門家の訪問等依頼しながら、実際に使っている学校現場での研修というのも充実を図っていきたい。

(深田委員長)

先ほど中川委員も言われたとおり、教師の意識のところ、これではなかなか活用が進まないなと思った。タブレットは利用の仕方によってはものすごく成果があると思う。実験を見せるとか、特に社会の授業などでは大活躍だと思う。何かそういうようなところを使ってやっていくような工夫をしてほしい。また学校訪問のときにもこんなことを聞こうかと思っている。

(宮嶋委員)

タブレットを使った授業は、これから先生方も本当に大変だと思うし、がんばっていただきたいと思うのだが、一番気になったのは、子どもの課題のところ、「学力の二極化も心配だが、子どもにとってタブレットを含む情報活用においても二極化」というところである。なんでもそうだと思うが、苦手な子もいれば、得意な子もいる。苦手意識を持つ子が多くなると指導をお願いしたい。

(こども教育課長)

子どもたちもそうだが、先生もやはり得意な人とそうでない人の差は大きいと思う。タブレットを活用すればすぐ学力が上がるという単純なものではないが、動機付けであったり、興味関心を高めるようなことに役立つのかなと思う。

(深田委員長)

では、3番目はこれで終了させていただきます。

4番目、「豊岡市こども支援センター4月の活動状況報告について」、報告をお願いいたします。

《こども教育課参事の説明概要》

#### (4) 豊岡市こども支援センター4月の活動状況報告について

資料にいつもの様式で4月の活動状況報告を載せている。新年度が始まって、例えば、特別支援の取組状況のところでは、学校園訪問が6小学校、10園となっているのが、今後どんどん増えていくという流れになる。新たな組織の中で4月はなかなか訪問はできないが、それが徐々に具体的な活動となって現れて数字になっていくというように見ていただきたい。

活動状況報告以外のことだが、スクールソーシャルワーカーが配置されたときには、支援センターとも情報共有を行いながら支援体制を取っていく、支援センターが1つの拠点になっていくというように計画していこうと考えているところである。

2月に滋賀県湖南市に視察に行った際には、健康増進課の保健師も3、4人参加されていたが、健康福祉部長と教育次長、それから実際に視察に行った実務者レベルの職員とで、今後どのように連携していくのかという会議を立ち上げていくことになっている。今後、どんな形で情報共有をしていくのかも含めて、実際の動きを取ることができはじめています。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(深田委員長)

去年4月の状況の資料がないから何ともいえないが、去年4月の状況と今年4月の状況から見た不登校の数は変わらないか。

(こども教育課参事)

昨年の4月はまだこの形でまとめていなかった。

不登校については、その数字に一喜一憂するのはとても危険なことで、取組がリアルタイムに反映していくものではないので、そこは慎重にしていけないといけないと思う。良いといわれる支援はしっかりとやり続けていく。そして、数年後に現れる子どももいるだろうし、すぐに反応する子どももいるので、数字の読み方は慎重にならないといけない。

ただ、不登校だけではないがそれに関連する1つの数字としては、問題行動が減ってきているというのがある。1つ1つ独立して子どもたちの状況というのが存在しているわけではないので、そういったことにおいては、しっかりとサポート体制が取れつつある。教育長が言われているように、「子どもに寄り添う教育」ということが徐々に良い方向になっていけばいいなと思う。

(深田委員長)

では、こども支援センターの活動状況報告については以上で終了させていただきます。

教育委員会事務局からの報告は以上で終了させていただきます。

## [日程 第9 教育委員会活動予定]

(深田委員長)

第9、教育委員会活動予定について、事務局の説明をお願いいたします。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

### 1 次回教育委員会会議の日程について

次回の教育委員会会議は、6月22日・水曜日の1時30分から庁議室で開催する。

第4回定例会の日程を決めていただきたい。第1希望は7月21日・木曜日、第2希望は7月22日・金曜日で、このあたりから、移動教育委員会に入っていきたいと思う。教育委員会会議が終わった後、地域学習会を開催していきたいが、今の段階ではまだどこにということを決めていない。どこの地域のこういうことを聞いてみたいという希望があれば、できるだけ希望に添えられるよう調整したいと思うので、意見を伺いたい。

＜ 各委員の都合を確認し、第4回定例会は7月21日・木曜日の午後1時30分から開催することに決定した。＞

(深田委員長)

移動教育委員会終了後に、この地域でのこういうような意見を聞いてみたいとか、ご希望等ありますでしょうか。

(中川委員)

教育長報告の中にもありましたが、但東中学校の修学旅行で行うアンテナショップでのPR活動について、できれば、今5月ですから、6月は、教育長が同行されるので、その話も聞かせてもらったりもして、但東の先生方の話も、あまり間をおかないうちに聞かせてほしいと思います。

(深田委員長)

そういう希望も出ております。その他、何かありませんか。但東の話が出ましたが、その他、去年できなかった城崎についても1回聞きたいというご意見などありましたら、事務局にお伝えください。事務局で集約、調整をしていただけたらと思います。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

## 2 今後の活動・行事予定

今後の活動・行事予定は資料に記載のとおりである。6月市議会の出席者を、後ほど決めていただき、報告をお願いしたい。

(深田委員長)

では、会議が終わりました後、集まっていただいて、出席者の確認をさせていただきたいと思っております。以上で教育委員会の活動予定、終了したいと思います。

その他でこの際発言をしておきたいという方、いらっしゃいましたらよろしく願いいたします。ありませんでしょうか。

ありませんようですので、以上をもちまして、定例の教育委員会会議を閉会します。

---

閉会 午後4時30分

---